

# 令和5年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

評価実施者

安竹 正 年齢 79 才 議員経験年数 5 年

評価日

令和 6年 3月 31日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<p>1. 議員活動の原則</p> <p>1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。</p>	○	<p>9月定例会は2か月間の病氣入院療養のため欠席したが、定例会での一般質問・全員協議会等では、町民の立場に立って質問し、意見を述べた。</p>	
<p>2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。</p>	◎	<p>体調不良はあったが、町内を歩き、町民と対話し意見交換しながら行政とのパイプ役に努めた。</p>	<p>積極的に町内の行事に参加していきたい。</p>
<p>3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。</p>	○	<p>災害による防災工事は概ね完成に近づく中、地域の活性化に向けた要望行動をした。</p>	<p>住民要望は5年から10年単位の長期スパンで考えなければならぬ。</p>
<p>2. 自由討議の拡大</p> <p>町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。</p>	○	<p>自分の意見を積極的に述べた。</p>	
<p>3. 議会費および政務活動費</p> <p>政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。</p>	○	<p>今期は、病氣入院（9・10月）欠席のため、政務活動費の有効活用は年4回発行の活動報告以外は不十分であった。故に活動費の半分以上を返金し、証書添付し、議長に提出した。</p>	<p>来年度は、体調を見ながら議員研修等に参加しながら政務活動費の有効活用に努める。</p>
<p>4. 選挙公約の評価</p> <p>1) 住民の声を議会に繁栄 2) 復旧から復興へ 3) 子育て世代への支援 4) 高齢化社会に向けた取り組み 5) デジタル化の推進を</p>	○	<p>住民の声を一般質問に反映。小屋浦地区の復興活性化へ向け努力した。子育て世代支援（子供医療費助成・学校・保育園等給食費支援・児童手当給付事業の拡充）</p>	<p>高齢化社会に向けた対策は、これからの課題として取り組む。</p>